

畦畔・農道・休耕田・麦跡の除草は7月上旬までに実施しよう！

生産履歴とGAPは的確に記帳しよう！

## 乳白粒、胴割粒、斑点粒等を防止して 安全安心きれいな米づくりを！

>>>めざせ！整粒歩合80%以上！<<<

### ◎コシヒカリの出穂期は平年並と予想（6月8日現在）

コシヒカリの生育は、草丈は平年並、分けつの発生は平年に比べ、やや少なくなっています。穂肥の早期施用や過剰施用は、倒伏等による品質低下（乳白粒、未熟粒）につながり、高温・日照不足ではさらに助長されます。幼穂長、葉色を確認し生育状況に合わせた適正施用に努めましょう。

### ◎出穂期の予想（平年出穂期 7月29日）

品 種 名	減 数 分 裂 期	出 穂 期
コシヒカリ	7月13日～7月23日	7月27日～7月31日
カグラモチ	7月12日～7月22日	7月26日～7月30日
新大正糯	7月23日～8月2日	8月6日～8月9日

※今後の天候次第で変動することがあります。

<注意> 減数分裂期は気象災害に最も弱い時期です。低温時には深水、フェーン現象時には入水してください。

### 1. 適正な穂肥で食味と品質を高めよう！

#### ◎穂肥時期の目安と基準施用量

品種名	回数	施用時期	基準施用量(10a 当たり)		第 1 回 目 の 幼穂長・葉色
			BBいしかわラ イト550	BBいしかわ穂 肥一発055	
コシヒカリ	第1回	7月11日 ～7月14日	9～13 kg	23～25 kg	幼穂長：1.5cm 葉色：3.5 
	第2回	7月19日 ～7月22日	17 kg	—	

※晩植コシヒカリの穂肥については別途ご案内します。

※一発肥料の圃場は、原則穂肥は不要ですが、葉色が薄い場合は営農指導員にお尋ね下さい。

### 2. きめ細かな水管理で根を生きし、乳白粒・褐色粒・胴割粒を防ごう！！

#### ◆ 中干し終了後からの水管理 ～間断通水による飽水管理～

普通田→3日に1回入水

砂質浅耕土地帯→2～3日に1回入水

《飽水管理》 **少し足が沈む程度の湿潤状態を保つ・・・圃場周辺が白く乾く前に入水する！**

□ 入水はなるべく水温の低い夕方～夜間、あるいは早朝とし、温度の高くなる日中は避ける。

□ 間断通水による飽水管理を刈取り5日前まで続けてください。

◆ 台風等によるフェーン現象が予想される場合は、あらかじめ入水し土壌水分を補給してください。

◆ 高夜温が続くような場合は、夜間に通水し、稲体の活力維持に努めてください。

防除については裏面を参照のこと

農薬を散布するときには、飛散に注意しましょう！

3. 斑点米の原因となるカメムシ類の雑草地における生息数は近年増加傾向にあります！

- ◆ カメムシ類の生息場所は雑草地です。畦畔や農道の草刈りを7月8日までに行ってください。  
また、大麦跡田や休耕田のすき込みを行なって下さい。
- ◆ 本田防除は下記を参考にして、確実に実施して下さい。

4. 倒伏軽減対応（対象品種：コシヒカリ）

倒伏のおそれのある場合は、スマレクト粒剤を出穂20日～10日前に2～3kg/10a散布（湛水後に散布し7日間止め水とする）

散布適期は、7月9日～19日

5. 葉いもちの発生に注意しよう！

田廻りで早期発見・早期防除に努めてください。

使用薬剤名：ブラシン粉剤DL 4kg/10a

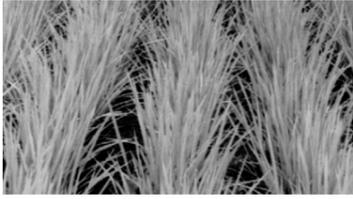
**斑点米カメムシ類の多発注意報**  
**発令中！！**

6. 効果的な防除で病害虫から稲を守ろう！

（個別粉剤防除地区）

	ビームトレモンセレン粉剤DL 4kg/10a	ビームキラップジョーカー粉剤DL 4kg/10a
散布適期	いもち病、紋枯病、カメムシ類、 ウカ類、ツマグロヨコバイ	いもち病、カメムシ類、ウカ類、 ツマグロヨコバイ、ニカメイユウ
早生種 中生種	7月21日～24日	8月4日～7日

（参考）◎コシヒカリの第1回目穂肥診断の目安

生育量の目安	葉色	葉の乱れ	施用時期（幼穂長）	施用量
条間の田面が手前30～50m程度まで見える 	うすい	立っている	早く（5～8mm）	基準量
		ひらついている	やや早く（10mm）	
	3.5（基準）	立っている	標準（15mm）	基準量
		ひらついている	遅く（20～30mm）	
	濃い	立っている	標準（15mm）	減らす
		ひらついている	遅く（20～30mm）	
条間の田面が見えない 	うすい	立っている	標準（15mm）	基準量
		ひらついている	遅く（20～30mm）	
	3.5（基準）	立っている	標準（15mm）	減らす
		ひらついている	遅く（20～30mm）	
	濃い	立っている	遅く（20～30mm）	減らす
		ひらついている	施用しない	

くわしいことは営農指導員にお尋ね下さい

飽水管理の励行と基幹防除の徹底で、安全安心きれいな能美米をつくらう！